

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル
0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9 : 00 ~ 午後 6 : 00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 2V3

1 609 92A 2V3 (2016.05)

レーザー距離計 PLR 25 型



BOSCH

取扱説明書（保証書）

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

●安全上のご注意

警告表示の区分	2
---------------	---

●本製品について

用途	7
各部の名称	8
仕様	10
標準付属品	12

●使い方

作業前の準備をする	13
作業する	15
レーザー距離計の精度チェック	34

●困ったときは

故障かな?と思ったら	35
修理を依頼するときは	37



●お手入れと保管

廃棄	39
----------	----

安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

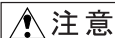
警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




警告

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。



警告

1. レーザー光を直接のぞいたり、人や動物に向けたりしないでください。また、遠くからでもレーザー光を見つめないでください。
 - ◆ 本機はレーザークラス 2 (EN60825-1 準拠) のレーザー光を発光します。レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
2. 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。
3. 取扱説明書およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリ以外は使用しないでください。
4. レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。
 - ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。
5. レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。
 - ◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。

6. 本機を分解・改造しないでください。
7. 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。
 - ◆爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。本機から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。
8. レーザー光が他人や自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。
 - ◆レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
9. レーザー光が自分の目に当たったときは、すぐに目を閉じ、レーザー光から顔を背けてください。
 - ◆レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
10. 電源を“ON”にしたまま放置しないでください。
 - ◆レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。

12. 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。



注 意

1. 使用前に、本機に損傷がないか点検してください。
 - ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
2. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
3. 子供を近づけないでください。
 - ◆ 目の届かない場所で子供に本機を使用させないでください。レーザー光が他者や子供自身の目に入ると、視力に影響を及ぼす場合があります。
4. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。
5. 点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。
 - ◆ 点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけではなく、事故やけがの原因になります。

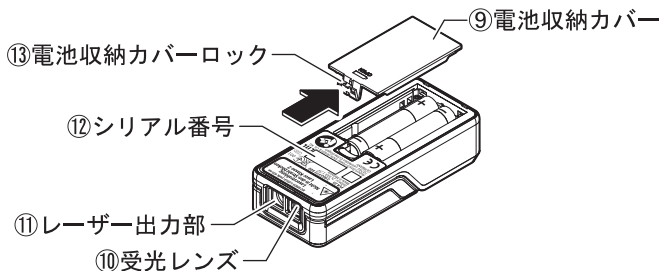
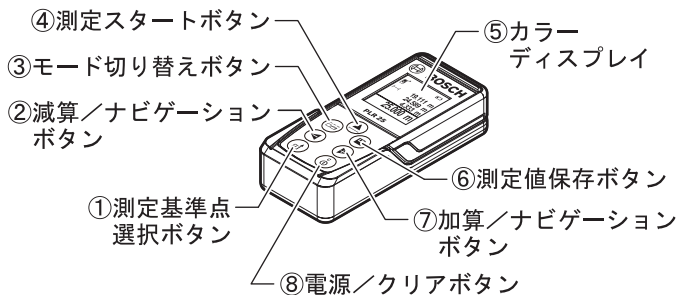
この取扱説明書は、大切に保管してください。

本製品について

用 途

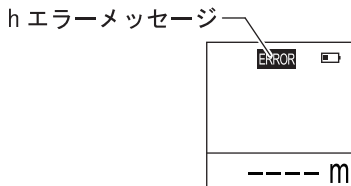
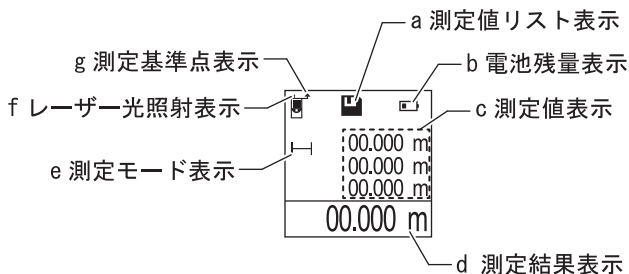
- ◆ 距離測定、長さ測定、高さ測定、隙間測定、面積測定、体積測定
- ◆ 連続測定
※室内での測定に適しています。

各部の名称



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ディスプレイ



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

型 番	PLR 25
測定可能範囲*1	0.05~25 m(標準測定時)
測定精度*2	±2.0 mm(標準測定時)
最小測定単位	1 mm
使用温度範囲	-10~+40°C
保管温度範囲	-20~+70°C
最大相対湿度	90%
レーザークラス	クラス 2
レーザーの種類	635 nm、 <1 mW
レーザー光径(周辺温度 25°Cの場合)	約 9 mm(測定距離 10 m時) 約 18 mm(測定距離 20 m時)
質 量	0.084 kg(電池を含む) (EPTA プロシージャ 01/2014 に準拠)
寸 法	100×42×22 mm
電 源	単 4 形アルカリ乾電池 2 本 単 4 形充電式電池 2 本
電池寿命(周辺温度 25°Cの場合)	
個々測定	約 10000 回(アルカリ乾電池使用時)
連続測定	約 2.5 時間(アルカリ乾電池使用時)
自動電源オフ(測定を行わなかった場合)	
レーザー光	約 20 秒
本 体	約 5 分
標準付属品	三脚取り付け用アダプター キャリングバッグ

*1 測定基準点が本体の後方端部の場合。

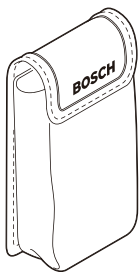
測定可能範囲は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や、使用周囲の明るさにより異なります。測定対象表面からの拡散反射（鏡反射ではない）が確保され、レーザー光と周囲との明るさの差が大きいき、屋内、暗い場所などでその測定能力を発揮します。測定範囲が 20m 未満では、測定エラーが発生する恐れがある場合、ターゲットパネルを使用しないでください。

*2 測定基準点が本体の後方端部の場合。

弱い逆光、周辺温度 25℃、反射率が 100% の対象物（白塗の壁など）の場合。偏差は、 $\pm 0.05\text{mm/m}$ を増減します。

お客様のレーザー距離計のシリアルナンバーは、銘板に記載されています。（8 ページ「各部の名称」参照）

標準付属品



キャリングバッグ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

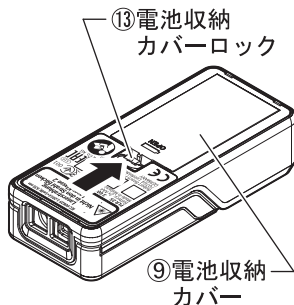
使い方

作業前の準備をする

● 電池を取り付ける・取り外す

取り付け

1. 電池収納カバーロック⑬を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑨を取り外します。



2. 電池収納部内の表示に従い、電池の向きに注意して電池を取り付けます。

- ☞ アルカリ乾電池または充電式電池を使用してください。
充電式電池（1.2V）は、アルカリ乾電池（1.5V）より測定可能回数が少なくなります。
- ☞ 電池を交換するときは、電池を2本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
- ☞ 付属されている電池は作動テスト用です。

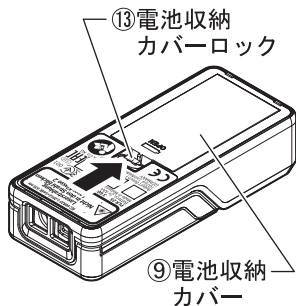
3. 電池収納カバー⑨のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑨を上から押し込んで取り付けます。

“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

- ☞ 長時間にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取り外してください。長時間にわたって放置すると、電池の腐食および自然放電につながります。
- ☞ 電池残量表示bが点灯開始してから、約100回の測定ができます。
- ☞ 電池残量表示bが点滅したら、測定できません。電池を交換してください。

取り外し

1. 電池収納カバーロック⑬を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑨を取り外します。



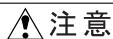
2. 電池を取り外します。
3. 電池収納カバー⑨のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑨を上から押し込んで取り付けます。

作業する




警告


- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や自分に向けていないことを確かめて、本機を設置してください。
- ◆ 電源を“ON”にしたまま、放置しないでください。レーザー光が目に入ると、視力に影響を及ぼす場合があります。



注意

- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。車の中などに長時間放置しないでください。周囲温度が急激に変化した場合、本機を周囲温度に順応させてからスイッチを入れてください。極度に高いまたは低い温度、または極度な温度変化は精度を低下させることがあります。
- ◆ 本機に強度な衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
精度を低下させることがあります。

 測定するときは、受光レンズ⑩およびレーザー出力部⑪に何も被さっていないことを確認してください。

 測定中はレーザー距離計を動かさないでください。(連続モードは除く)

このため、レーザー距離計はできるだけ測定点上にあてるようにしてください。

- ☞ 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。
- ☞ 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメガネおよびターゲットパネルを使用するか、照準対象面に影をあてるとレーザー光が見やすくなります。
- ☞ 透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面（磨かれた金属、ガラスなど）を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。
- ☞ 本機に強度な衝撃を与えてしまったときは、精度チェックを行うことをお勧めします。

① 電源を入れる

スイッチの ON/OFF

スイッチ ON : 「電源/クリアボタン⑧(⓪)」または「測定スタートボタン④(▲)」を押す。

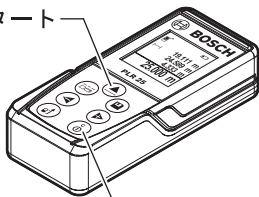
「電源/クリアボタン⑧(⓪)」で電源を入れた場合は、レーザー光は照射されません。

「測定スタートボタン④(▲)」で電源を入れた場合には、レーザー光が照射されます。

スイッチ OFF : 「電源/クリアボタン⑧(⓪)」を約 2~3 秒間押す。

☞ 連続測定は、5分経過すると自動的に電源が“OFF”になります。

④測定スタート
ボタン



⑧電源/クリア
ボタン

2 測定モードを選択する

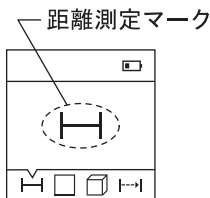
測定モードは、“距離測定モード” “連続測定モード” “面積測定モード” “体積測定モード” の4つから選択できます。

電源を入れた直後は、“距離測定モード” が選択されています。一度任意の測定モードに設定した後は、モードを変更するか電源を切らない限り、設定したモードのまま測定されます。

距離測定モード

距離を測定したいときに選択します。

カラーディスプレイ⑤に距離測定マーク“H”が表示されるまで「モード切り替えボタン③(⊞)」または、「減算/ナビゲーションボタン②(◀)」 「加算/ナビゲーションボタン⑦(▶)」を繰り返し押します。







連続測定モード

照準点を基準に、距離を測定したいときに選択します。

カラーディスプレイ⑤に連続測定マーク“→”が表示されるまで、「モード切り替えボタン③(⊞)」または、「減算/ナビゲーションボタン②(◀)」 「加算/ナビゲーションボタン⑦(▶)」を繰り返し押します。





面積測定モード

面積を測定したいときに選択します。

カラーディスプレイ⑤に面積測定マーク“”が表示されるまで「モード切り替えボタン③」または、「減算／ナビゲーションボタン②」「加算／ナビゲーションボタン⑦」を繰り返し押します。

体積測定モード

体積を測定したいときに選択します。

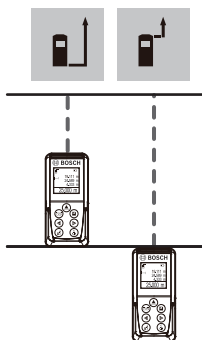
カラーディスプレイ⑤に体積測定マーク“”が表示されるまで「モード切り替えボタン③」または、「減算／ナビゲーションボタン②」「加算／ナビゲーションボタン⑦」を繰り返し押します。

3 基準点を選択する



基準点は“本体の前方端部”“本体の後方端部”の2個所で設定できます。

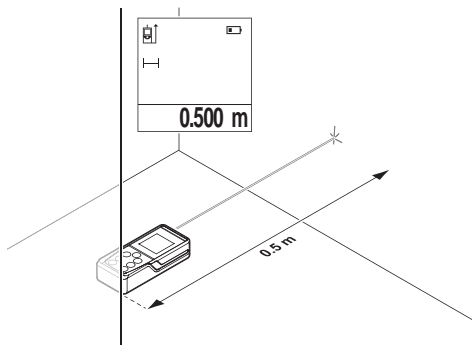
電源を入れた直後は、後方端部が基準点になっています。

一度任意の基準点に設定した後は、基準点を変更するか電源を切らない限り同じ基準点で測定されます。





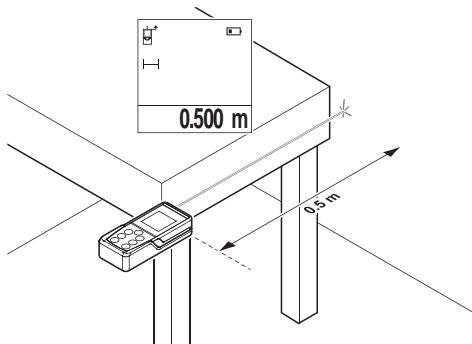
本体の後方端部（壁に当てる場合など）

カラーディスプレイ⑤の測定基準点表示gに“”が表示されるまで「測定基準点選択ボタン①」を繰り返し押します。



本体の前方端部（テーブルの角から測定する場合など）

カラーディスプレイ⑤の測定基準点表示gに“”が表示されるまで「測定基準点選択ボタン①」を繰り返し押します。



4 測定する



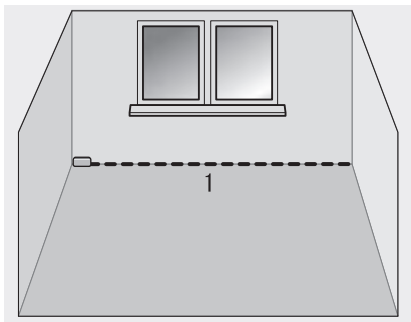
- ◆ レーザー出力部⑪が他人や動物、自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

☞ 照射後、約 20 秒以上測定を行わないと、レーザー光は自動的に切れます。

切れてしまったときは、再度「測定スタートボタン④▲」を押すと照射されます。

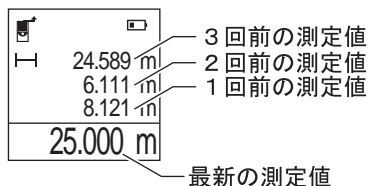
距離を測定する

距離を求めます。



1. 「測定スタートボタン④▲」を押して、レーザー光を照射させます。
レーザーが照射されると、カラーディスプレイ⑤にレーザー光照射表示 f が表示されます。

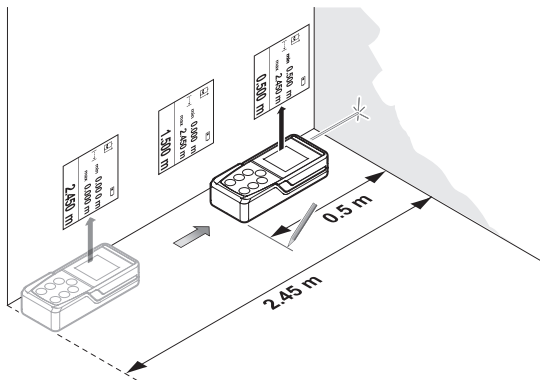
2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン④(▲)」を押して測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。
測定が完了すると測定値がカラーディスプレイ⑤の測定結果表示dに表示されます。
測定を繰り返し続けると、測定結果表示dに最新の測定結果が表示され、測定値表示cに過去の測定値が表示されます。



- ☞ 距離測定モード以外のモードが選択されているときに、「測定スタートボタン④(▲)」を長押しすると、距離測定モードに切り替わります。

連続測定する

照準点を基準としながら距離を測ります。
連続測定は、約4分間測定し続けます。

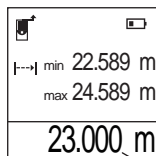


1. 「測定スタートボタン④(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。
レーザーが照射されると、カラーディスプレイ⑤にレーザー光照射表示 f が表示されます。

2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

測定値は 0.5 秒ごとに更新されます。

カラーディスプレイ⑤の測定値表示 c に希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。



測定値

カラーディスプレイ⑤には、連続測定中の最大測定値、最小測定値、現在の測定値が表示されます。

- ☞ 連続測定を中断したいときは、「測定スタートボタン④(▲)」を押してください。

レーザー光が切れ、その時点での測定値がカラーディスプレイ⑤の測定結果表示 d に表示されます。

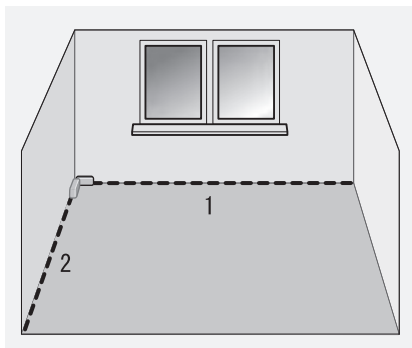
その上に最大値と最小値が表示されます。


再度、「測定スタートボタン④(▲)」を押すと、連続測定を新たに開始します。



- ☞ 連続測定は、4 分後自動的に解除されます。
自動的に解除された場合は、最終の測定値がカラーディスプレイ⑤に表示されたままになります。


面積を測定する

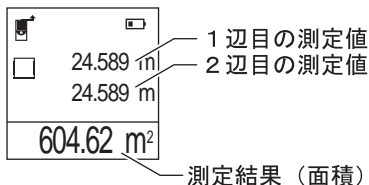
長さと幅を測定して面積を求めます。



☞ カラーディスプレイ⑤に面積測定マーク“”が表示されていることを確認してください。

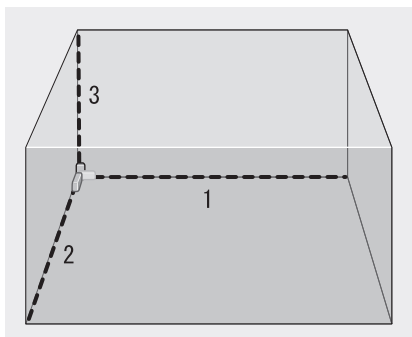
1. 「測定スタートボタン④」を押して、レーザー光を照射させます。
レーザーが照射されると、カラーディスプレイ⑤にレーザー光照射表示 f が表示されます。
2. 面積測定マーク“”の点滅している辺を測定します。
選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。


- 「測定スタートボタン④(▲)」を押します。
測定が完了すると、測定値がカラーディスプレイ⑤の測定値表示 c 上段に表示されます。
- 続けて、面積測定マーク “□” の点滅している辺を測定します。
選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
 1 辺目の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
- 「測定スタートボタン④(▲)」を押します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。
測定が完了すると、測定値がカラーディスプレイ⑤の測定値表示 c 下段に表示されます。面積の測定値は、カラーディスプレイ⑤の測定値結果表示 d に表示されます。





体積を測定する



長さ、幅、高さを測定して、体積を求めます。






☞ カラーディスプレイ⑤に体積測定マーク“”が表示されていることを確認してください。

1. 「測定スタートボタン④▲」を押して、レーザー光を照射させます。
レーザーが照射されると、カラーディスプレイ⑤にレーザー光照射表示 f が表示されます。
2. 体積測定マーク“”の点滅している辺を測定します。
選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

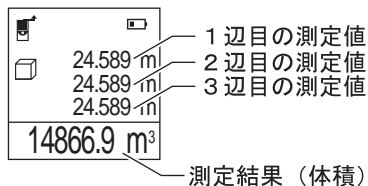
3. 「測定スタートボタン④」を押します。
測定が完了すると測定値がカラーディスプレイ⑤の測定値表示c上段に表示されます。

4. 続けて、体積測定マーク“”の点滅している辺を測定します。
選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
 1辺目の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン④」を押します。
測定が完了すると測定値がカラーディスプレイ⑤の測定値表示c中段に表示されます。

6. 続けて、体積測定マーク“”の点滅している辺を測定します。
選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
 2辺目の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン④(▲)」を押します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。
測定が完了すると測定値がカラーディスプレイ⑤の測定値表示 c 下段に表示されます。
体積の測定値は、カラーディスプレイ⑤の測定結果表示 d に表示されます。




5 測定値を加算・減算する

例では、面積の測定で説明します。

測定値の加算


測定値+測定値の加算が可能です。

 加算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

1. 26 ページ「面積を測定する」の 1 項～5 項の手順で面積を測定します。
カラーディスプレイ⑤に測定値と測定結果が表示されま
す。
2. 「加算／ナビゲーションボタン⑦▶」を押します。
3. 加算したい面積を、26 ページ「面積を測定する」の 1 項～
5 項の手順で測定します。
カラーディスプレイ⑤に 1 回前に測定した面積と今回測
定した面積、合計の面積が表示されます。
4. 加算を終了するときは、「測定スタートボタン④▲」を押
します。
加算を続けるときは、「加算／ナビゲーションボタン⑦
▶」を押し、3 項 4 項を繰り返してください。

測定値の減算

測定値+測定値の減算が可能です。


 減算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

1. 26 ページ「面積を測定する」の 1 項～ 5 項の手順で面積を測定します。
カラーディスプレイ⑤に測定値と測定結果が表示されま
す。
2. 「減算／ナビゲーションボタン②(◀)」を押します。
3. 減算したい面積を、26 ページ「面積を測定する」の 1 項～
5 項の手順で測定します。
カラーディスプレイ⑤に 1 回前に測定した面積と今回測
定した面積、合計の面積が表示されます。
4. 減算を終了するときは、「測定スタートボタン④(▲)」を押
します。
減算を続けるときは、「減算／ナビゲーションボタン②
(◀)」を押し、3 項 4 項を繰り返してください。


⑥ 保存された測定値を呼び出す・削除する


本機は、自動的に最新 10 件の測定値と計算結果を保存しています。

測定値を呼び出す

「測定値保存ボタン⑥」を押すと、保存されている測定値と計算結果がカラーディスプレイ⑤に表示されます。


測定値を削除する

「電源／クリアボタン⑧」を押すと、最新の測定値が削除されます。

「電源／クリアボタン⑧」を繰り返し押すと、最新の測定値から順に削除されます。

レーザー距離計の精度チェック

誤って落としたり、ぶつけたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

-  測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。
1. 距離が変化しない屋内の場所で、3～10m 程度の距離を決めます。
(例えば、室内幅やドアの開孔口など)
対象物の表面は平坦で、よく反射するものにします。
 2. 1 項で決めた距離を、10 回続けて測定します。
測定値の許容誤差は、 $\pm 2.0\text{mm}$ です。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。


症 状	原 因	対 処
電池残量表示 b が点灯する	電池容量の低下 (測定はまだ可能)	電池を交換する
電池残量表示 b が点滅し、測定が行えない	電池容量が少なすぎる	電池を交換する
『ERROR』と『---』がカラーディスプレイ⑤に表示される	対象物からの反射が強すぎる(鏡等)または弱すぎる(黒地の布等) 周囲が明るすぎる	ターゲットパネル(別売)を使用する
	レーザー出力部⑪または受光レンズ⑩が曇っている (急激な使用環境温度の変化などが原因)	やわらかい布でレーザー出力部⑪または受光レンズ⑩を磨く

症 状	原 因	対 処
測定結果が不正確である	<p>測定対象物から適切な反射が得られない（水面、ガラスなど）</p> <p>レーザー出力部⑪または受光レンズ⑩に何か被さっている</p> <p>測定基準点が間違っている</p> <p>レーザー光が対象物に当たっていない</p> <p>計算された値が 999999 より大きいまたは -999999 より小さい</p>	<p>照準対象面に何らかの覆いをする</p> <p>レーザー出力部⑪または受光レンズ⑩を覆っている障害物を取り除く</p> <p>測定基準点を確認して、正しく選択する</p> <p>レーザー光を対象物に確実に当てる</p> <p>測定する対象を分割する</p>
ボタンを押しても表示が変わらない、またはちがう画面が表示される	ソフトウェアのエラー	一度電池を取り外し、再度取り付ける

修理を依頼するときは

◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。なお、この製品には保証書がついておりますので、現品とともにご掲示ください。

コールセンターフリーダイヤル

 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管

- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れしないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ⑩は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

廃棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。